



そのような中、十月下旬～十一月上旬にかけて利用者様を花散策にお連れしました。当苑では、長引く感染症対策により外出機会が限られているため、少しでも季節を感じ気分転換を図っていただけるよう、気候のよい時期にリハビリ職が中心となり他職種と協力しながら屋外での散策を行っています。

今年度は、春には近くの川沿いの桜を楽しみ、初夏は宇部空港のバラを満喫しました。そして、秋は道の駅きららあじすのコスモス畑へ行きました。ちょうど見頃と重なり、心地よい空気と一面のコスモスに皆様、自然と顔がほころんでおられました。

師走を迎え、日増しに寒くなつてまいりました。今年は、山口県を含む九州北部地方の梅雨明けが六月下旬であつたこともあり、ただただ暑く長い夏の印象がつよく、あつという間に秋が過ぎ去つたように感じます。

宇部幸楽苑 理学療法士 植田 洋平

「秋の屋外散策に行つてきました！」



*裏面に皆様の写真がありますのでご覧ください。

また、隣のきらら博記念公園では、今春よりドーム周辺に中国地方最大級のフラワーガーデンがオープンしたということで期待して向かったところ、あいにく秋の植え替え作業中でした。しかし、広々とした美しい園内での「ティータイム」は格別のご様子でした。帰る途中には、東岐波から西岐波の沿岸を走り、光が当たり輝く海も見ることができました。こうした光景もさることながら、道中の車窓から見える馴染みのある場所や思い出を振り返りながら、生き生きと話される様子が印象的でした。たとえ、ささやかな外出であつても、利用者様にとってはよい刺激となり、心動かされるものがあるのだと実感しました。これからも安全に気をつけながら、屋外散策を継続していきたいと改めて思いました。まだまだ寒い日が続きますが、お体にご留意のうえ、よい年をお迎えください。

「秋の屋外散策に行ってきました！②」



「徒然なるまことに…」

2階 介護福祉士 安田 美歌

今年ももう少しで終わろうとしています。

1年があつという間に過ぎていきます。

話は変わりますが、私には3人の子供(長女、長男、次女)がいます。

今回は2番目の高校2年生になる息子の話をしたいと思います。

息子は中学生になる時に友人の勧めで剣道を始めました。最初は何も分からず始めた剣道ですが、今では高校の先生方をはじめ、いろいろな方々に稽古を付けてもら強い強くなっています。息子は剣道が大好きで、部活の仲間とともに仲が良くて、先輩達にもすごく可愛がられています。

息子の頭はいつでも剣道の事でいっぱいです。剣道をするのもいいですが、私的にはもう少し勉学にも励んでもらいたいと思っています…。

寒い日が続きますが、皆様風邪等に気をつけて過ごしてください。

